

愛知医科大学看護学部 平成24年度～平成28年度入学生用カリキュラムチェックリスト

○印: 該当するディプロマポリシー

No.1

科目群	科目	必修/選択	①教養科目群, 専門基礎科目群, 看護学専門科目群の履修を通して, 知的好奇心を養うとともに, 看護学を支える上で重要な人間, 健康, 環境の理解を深め, 専門職業人としての確かな基盤を身につける。	②看護学における体系的学習(基礎看護, 健康レベル別看護, ライフサイクル別看護, 広域看護, 総合看護)を通して, 看護専門職業人に必要な実践能力(専門的知識・技術, ケアリング, 倫理的判断, クリティカルシンキング)を身につける。	③4年間にわたる「講義」「演習」「実習」での学びやゼミナール等を通して, 看護実践者として主体的に学ぶ姿勢や社会に貢献できる能力を身につける。
教養科目群	人文学				
	文学	選択	○		○
	言語学	選択	○		○
	心理学	選択	○		○
	哲学	選択	○		○
	教育学	選択	○		○
	音楽	選択	○		○
	社会科学				
	文化人類学	選択	○		○
	憲法学	選択	○		○
	ジェンダー論	選択	○		○
	政治学	選択	○		○
	経済学	選択	○		○
	自然科学				
	情報科学	必修	○		○
	統計学	必修	○		○
	数学	選択	○		○
	生物学	選択	○		○
	化学	選択	○		○
	物理学	選択	○		○
	言語と表現				
	国語表現法	必修	○		○
	英語Ⅰ	必修	○		○
	英語Ⅱ	必修	○		○
	手話	選択	○		○
	中国語	選択	○		○
	ドイツ語	選択	○		○
	スペイン語	選択	○		○
	医療英語	選択	○		○
	英語文献購読	選択	○		○
教養ゼミナール	選択	○		○	

科目群	科目	必修/選択	①教養科目群, 専門基礎科目群, 看護学専門科目群の履修を通して, 知的好奇心を養うとともに, 看護学を支える上で重要な人間, 健康, 環境の理解を深め, 専門職業人としての確かな基盤を身につける。	②看護学における体系的学習(基礎看護, 健康レベル別看護, ライフサイクル別看護, 広域看護, 総合看護)を通して, 看護専門職業人に必要な実践能力(専門的知識・技術, ケアリング, 倫理的判断, クリティカルシンキング)を身につける。	③4年間にわたる「講義」「演習」「実習」での学びやゼミナール等を通して, 看護実践者として主体的に学ぶ姿勢や社会に貢献できる能力を身につける。
専門基礎科目群	人間の理解				
	形態機能学Ⅰ	必修	○		○
	形態機能学Ⅱ	必修	○		○
	生化学	必修	○		○
	人間学	必修	○		○
	生命倫理	必修	○		○
	生涯発達論	必修	○		○
	運動の科学	選択	○		
	体育実技	選択	○		
	家族社会学	選択	○		○
	ヒューマンセクシュアリティ論	選択	○		○
	健康の理解				
	病理学	必修	○		○
	感染・免疫学	必修	○		○
	臨床薬理学	必修	○		○
	病態治療学Ⅰ	必修	○		○
	病態治療学Ⅱ	必修	○		○
	病態治療学Ⅲ	必修	○		○
	臨床栄養学	必修	○		○
	環境の理解				
	公衆衛生学	必修	○		○
	環境保健学	必修	○		○
	疫学	必修	○		○
	保健医療福祉行政論Ⅰ	必修	○		○
	保健医療福祉行政論Ⅱ	必修	○		○

科目群	科目	必修/選択	①教養科目群, 専門基礎科目群, 看護学専門科目群の履修を通して, 知的好奇心を養うとともに, 看護学を支える上で重要な人間, 健康, 環境の理解を深め, 専門職業人としての確かな基盤を身につける。	②看護学における体系的学習(基礎看護, 健康レベル別看護, ライフサイクル別看護, 広域看護, 総合看護)を通して, 看護専門職業人に必要な実践能力(専門的知識・技術, ケアリング, 倫理的判断, クリティカルシンキング)を身につける。	③4年間にわたる「講義」「演習」「実習」での学びやゼミナール等を通して, 看護実践者として主体的に学ぶ姿勢や社会に貢献できる能力を身につける。	
看護学専門科目群	基礎看護					
	看護基礎論	必修	○	○	○	
	看護入門実習	必修	○	○	○	
	援助的関係論	必修	○	○	○	
	看護学原論	必修	○	○	○	
	ヘルスアセスメントⅠ	必修	○	○	○	
	ヘルスアセスメントⅡ	必修	○	○	○	
	基礎看護技術Ⅰ	必修	○	○	○	
	基礎看護技術Ⅱ	必修	○	○	○	
	基礎看護実習	必修	○	○	○	
	看護援助論	必修	○	○	○	
	看護援助実習	必修	○	○	○	
	健康レベル別看護					
	治療・回復過程援助論Ⅰ	必修	○	○	○	
	治療・回復過程援助論Ⅱ	必修	○	○	○	
	治療・回復過程援助実習	必修	○	○	○	
	療養生活支援論Ⅰ	必修	○	○	○	
	療養生活支援論Ⅱ	必修	○	○	○	
	療養生活支援実習	必修	○	○	○	
	健康教育論	必修	○	○	○	
	保健指導論	必修	○	○	○	
	組織健康支援論	必修	○	○	○	
	リハビリテーションケア論	選択	○	○	○	
	クリティカルケア論	選択	○	○	○	
	ターミナルケア論	選択	○	○	○	
	ライフサイクル別看護					
	母性看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○	
	母性看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○	
	母性看護学実習	必修	○	○	○	
	小児看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○	
	小児看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○	
	小児看護学実習	必修	○	○	○	
	成人看護援助論	必修	○	○	○	
	老年看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○	
	老年看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○	
	老年看護学実習	必修	○	○	○	

科目群	科目	必修/選択	①教養科目群, 専門基礎科目群, 看護学専門科目群の履修を通して, 知的好奇心を養うとともに, 看護学を支える上で重要な人間, 健康, 環境の理解を深め, 専門職業人としての確かな基盤を身につける。	②看護学における体系的学習(基礎看護, 健康レベル別看護, ライフサイクル別看護, 広域看護, 総合看護)を通して, 看護専門職業人に必要な実践能力(専門的知識・技術, ケアリング, 倫理的判断, クリティカルシンキング)を身につける。	③4年間にわたる「講義」「演習」「実習」での学びやゼミナール等を通して, 看護実践者として主体的に学ぶ姿勢や社会に貢献できる能力を身につける。
看護学専門科目群	広域看護				
	感染と看護	必修	○	○	○
	精神看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○
	精神看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○
	精神看護援助実習	必修	○	○	○
	家族看護論	必修	○	○	○
	在宅看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○
	在宅看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○
	在宅看護援助実習	必修	○	○	○
	地域看護援助論Ⅰ	必修	○	○	○
	地域看護援助論Ⅱ	必修	○	○	○
	地域看護援助実習	必修	○	○	○
	学校看護学	必修	○	○	○
	産業看護学	必修	○	○	○
	災害看護学	必修	○	○	○
	国際看護学	必修	○	○	○
	健康危機管理論	必修	○	○	○
	公衆衛生看護管理演習	必修	○	○	○
	公衆衛生看護実習	必修	○	○	○
	総合看護				
	看護研究方法	必修	○	○	○
	看護管理論	必修	○	○	○
	総合看護実習	必修	○	○	○
	看護総合	必修	○	○	○
	看護ゼミナールⅠ	必修	○	○	○
	看護ゼミナールⅡ	必修	○	○	○
	特別講義	自由	○	○	○